

令和7年度第3回萩荘地区学校運営支援協議会

日時:令和8年2月5日(木) 13:35~15:20

場所:一関市立萩荘中学校 会議室

本日の日程	13:35~14:00	授業参観
	1A	定期テスト計画づくり
	1B	定期テスト計画づくり
	2A	定期テスト計画づくり
	2B	定期テスト計画づくり
	3A	定期テスト計画づくり
	3B	定期テスト計画づくり
	なのはな	定期テスト計画づくり
	ポプラ	定期テスト計画づくり
	14:00~15:10	学校運営支援協議会
	15:20	終了

次第

進行:事務局 大友一篤

- 1 開会
- 2 会長挨拶
- 3 協議
 - (1) 今年度経過報告
 - (2) 萩荘小・中学校校長から(今年度経営反省と令和8年度経営方針について)
 - (3) 熟議 「小中一体の活動デザイン」
~〇〇を小中一体化~
- 4 その他
 - ・各委員さんから(情報交換)
 - ・次年度組織について
- 5 閉会

学校運営支援協議会 参加者（敬称略）

	役職	所属	役職	氏名（敬称略）	参加
1	会長	萩荘市民センター	所長	小野寺 聖悦	鶏
2	副会長	萩荘地区まちづくり 協議会	顧問	中野 信雄	荘
3	副会長	萩荘地区区長会	会長	佐藤 洋一	欠
4	委員	岩手県立一関工業 高等学校	校長	宇夫方 聡	萩
5	委員	萩荘地区民生児童 委員協議会	主任児童委員	岩渕 四郎	荘
6	委員	萩荘地区民生児童 委員協議会	主任児童委員	千葉 智恵	荘
7	委員	はぎっ子サポートチーム	代表	平野 勝	鶏
8	委員	萩荘中学校PTA	会長	阿部 勇太	萩
9	委員	萩荘小学校PTA	会長	佐々木 弘克	欠
10	委員	地域学校協働本部	地域コーディネーター	両角 みかこ	荘
11	委員	萩荘中学校	校長	村上 正和	萩
12	委員	萩荘小学校	校長	熊谷 浩二	萩
13	事務局	萩荘小学校	副校長	金野 幹子	鶏
14	事務局	萩荘中学校	副校長	大友 一篤	

3(1)報告

- 1 会議名 令和7年度第2回萩荘地区学校運営支援協議会
- 2 開催日時 令和 7年11月27日(木) 12時00分から14時30分まで
- 3 開催場所 一関市立萩荘小学校 校長室・校舎内各教室
- 4 出席者 小野寺聖悦会長、中野信雄副会長、佐藤洋一副会長、岩渕四郎委員、千葉智恵委員、平野勝委員、阿部勇太委員、佐々木弘克委員、両角みかこ委員、村上正和委員、熊谷浩二委員、金野幹子・大友一篇事務局 計13名
- 5 議 題
 - (1) 萩荘小中学校の近況報告
 - (2) 市民センターの近況報告
 - (3) 現在までの学習ボランティアの取組について
 - (4) 地域の子供の様子について
 - (5) 今後の活動について
- 6 公開、非公開の別 : 公開
- 7 傍聴人 0人
- 8 議事内容
 - ・給食体験12:00~12:30
協議 12:30~13:15
授業参観13:20~14:05
 - ・小中学校から近況報告
小学校長から、学びフェストアンケートの結果報告。
中学校長から、生徒数減少に伴う部活動数のみなおしについて。
 - ・市民センターから
萩荘祭りが盛況だった。子どもたちの参加により地域の方々に喜んでもらった。
市民センターしめ飾りづくり講習から中学校ふるさと学習への恒例活動をよろしく。
高齢者大学で小学校を訪問するのでよろしく。
 - ・地域コーディネーター
小中学校の学習ボランティアに多数協力いただいた。現在、中学校のふるさと学習の相談を進めている。
 - ・その他
軟式野球クラブ「ワンゲート」が立ち上がった。
小中一体型のPTAにしていってはどうだろうか。
- 9 担 当 萩荘小学校

- 1 会 議 名 令和7年度第1回萩荘地区学校運営支援協議会
- 2 開催日時 令和 7年 5月23日(金) 13時35分から15時00分まで
- 3 開催場所 一関市立萩荘中学校会議室
- 4 出席者 小野寺聖悦会長、中野信雄副会長、佐藤洋一副会長、宇夫方聰委員、岩渕四郎委員、千葉智恵委員、平野勝委員、両角みかこ委員、熊谷浩二委員、村上正和委員、金野幹子・大友一篇事務局 計12名
- 5 議 題
 - ・委員委嘱
 - ・小・中学校学校経営について
 - ・その他 情報交流
- 6 公開、非公開の別 公開
- 7 傍 聴 人 0人
- 8 議事内容
 - ・小中学校の学校経営について、各学校長が説明し、承認いただいた。
 - ・昨年度の実践、実績を踏まえ今年度も地域と学校の連携を図りながら、両者にとってウィンウィンな活動を展開していくことを共有した。
 - その他
 - ・高梨交差点国道が4車線化された。学校での交通安全指導をお願いしたい。
 - ・13:35～14:00授業参観を行い、14:00から会議を行った。
- 9 担 当 萩荘中学校

3 協議(2) 萩荘小・中学校校長から(今年度経営反省と令和8年度経営方針について)

3 協議(3)

熟議ワークショップ

テーマ

「小中一体の活動デザイン」～〇〇を小中一体化～

*社会情勢の変化、特に少子高齢化が加速していく状況をうけてどんな活動の工夫ができるのかを考えることをねらいにしています。前年踏襲、現状維持の活動が困難になってきている昨今をふまえ、今回は小中を合わせることによってどのような活動や活動効果を期待できるのかみなさんで話し合ってみましょう。

- 1 各自で、どんなことでもいいので地域とともに小中一体で行う活動を考え、〇〇を小中一体化と記入し、思いついた具体的なやり方と効果を記入します。(5分)
- 1 3つのグループをつくります
進行司会者、記録者、発表者を決めます。(1分)
- 2 それぞれのグループで自分のアイデアを各自が1分以内に発表しあいます。
発表ごとに質疑をとって交流を深めます。(発表・質疑 5分)
- 3 グループでテーマを一つに絞り込み、具体的な取り組みや活動による効果をみんなで考え、絞り込んだテーマについてより深めていきます。(10分)
- 4 グループの代表者が発表します。(2分位×3)
- 5 代表(会長、小中学校長)が講評をまじえまとめます。(3分位)

*各自の考えを肯定します(各自の発表の後に拍手があると盛り上がります)。

*実現可能か不可能かを議論せずにあくまでもテーマの広がり深まりを尊重します。

【小中一体の活動デザインの材料例】

ゲストティーチャー PTA 少子化 民区 部活動 地域クラブ活動 授業参観
小中連携 クマ対応 災害時対応 不審者対応 鶏舞 地域行事 運動会 文化祭
地域行事 不登校、いじめ対応 小学校入学までに身に付けておきたい資質能力 中学校
入学までに身に付けておきたい資質能力 中学校卒業までに身に付けておきたい資質能力

テーマ

「小中一体の活動デザイン」～〇〇を小中一体化～

皆さんの考えを貼り付けてください。



を小中一体化！

テーマについて(ねらいの説明)

具体的な取り組みや活動による効果

実現のための課題

R7. 2学期末		保護者	児童 (1～3年)	児童 (4～6年)
★肯定的評価(あてはまる+どちらかというとあてはまる)% ※下段()内の数字は、本年度の1学期末の%				
やさしい心アップ	学校生活が楽しい(目標値95%)	94 (91) ↑	98 (94) ↑	96 (92) ↑
	進んであいさつをしている	83 (83)	86 (93)	85 (88)
	あったか言葉を使い友達に声がけ	87 (91)	87 (94)	90 (91)
学力アップ	授業や学習がよくわかる (目標値90%)	79 (81)	92 (91) ↑	92 (94)
	落ち着いてじっくり家庭学習	67 (70)	91 (90) ↑	95 (93) ↑
	時間を見つけて読書	39 (46)	74 (88)	61 (62)
健康力アップ	就寝と起床時間を守る	87 (80) ↑	82 (80) ↑	86 (81) ↑
	しっかり三度の食事	98 (100)	94 (92) ↑	96 (96)
	徒歩通学、運動や外遊び	64 (84)	83 (90)	80 (85)
	TVやゲームの約束を守る (目標値75%)	54 (64)	85 (82) ↑	85 (80) ↑
【保護者のコメント】 ・熊の出没について ・夏休みのプール開放について ・親子レクについて ・登下校時の駐車マナーについて ・宿題の量について ・学校の駐車場の不足について ・子どもの把握について ・指導に関する感謝 ★お忙しい中、アンケートへの回答、ありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。				

令和8年度 学校経営の基本計画

1 一関市学校教育基本方針

- (1) 社会の変化に主体的に対応できる確かな学力を育成する。
- (2) たくましく心豊かに生きる幼児・児童を育成する。
- (3) 児童の実態に即し、地域の環境や特性を生かした特色ある教育を創造する。

2 学校経営の基本方針

公教育の方針にのっとり、全人教育を前提として、特に「豊かな人間性」の育成と「確かな学力」の育成を中心に捉えた学校経営を意図するものである。

そのために、本校児童の実態をふまえ、児童・保護者・地域の願いに立脚した教育活動を進め、地域に開かれた学校経営を目指す。

3 学校教育目標 (◎は令和8年度重点目標)

- 相手を思いやり助け合う子 (やさしい子)
 - ・ 自己との違いを認め、他者を尊重する子ども
 - ◎ 弱者をいたわり、あったか言葉を使う子ども
 - ・ 自他の生命を大切にする子ども
- 自ら学び自ら考える子 (かんがえる子)
 - ・ 自分の考えを持ち、意欲的に学習に取り組む子ども
 - ◎ 目標を持ち、工夫しながら学習する子ども
 - ・ 互いの良さを認め、友達の考えを大切にする子ども
- 健康でたくましい子 (たくましい子)
 - ・ 正しい判断をし、行動する子ども
 - ◎ がまん強く、最後までやりぬく子ども
 - ・ 進んで体を動かし、鍛える子ども

4 めざす学校像

- 大きな夢がわいてくる学校 (一人一人の可能性を広げ、伸ばす学校)
 - ・ 児童や教職員がゆとりを持ち、落ち着いて活動する学校
 - ・ 児童が安心して安全に過ごせる学校
 - ・ 児童や教職員、保護者、地域が声を掛け合い、サポートし合える学校

5 めざす教師像 (◎は令和8年度重点目標)

- 児童理解に努め、一人ひとりの個性の伸長を図る教師
- 自己の研鑽・修養に努め、授業を大切にする教師
- ◎ 他の教職員と協力し、教育目標の具現に向けて力を発揮する教師
- ◎ 自己の職責を自覚し、保護者や地域から信頼される教師
- 今日的課題を把握し、創意工夫し実践する教師

6 本年度学校経営の方針

一人ひとりの子どもの個性や可能性を伸ばす学校づくり

～「大きな夢がわいてくる学校」～

○「子どもが主人公の学校づくり」

→ 子どもをど真ん中に据え、豊かな人間性をはぐくみ、

個性を伸長する「道德教育の推進」

○「子どもの心に響く、魅力ある道德の授業づくり」

→ 子どもの実態を見据えたプラン作りと教師自身のやりがいのある道德の授業作り

7 本年度学校経営の重点

(1) 豊かな心を育む【やさしい心アップ】

① 道德教育の充実



- ・学校教育全体で行われる道德教育⇒豊かな人間性の育成、個性の伸長
- ・「生きる力」の核となる豊かな人間性⇒感動する心、柔らかな感性、正義感、生命や人権の尊重、思いやりの心、社会貢献の精神、自立心、自己抑制力、責任感、他者との共生等
- ・子どもの道德性を育てる⇒道德的心情、道德的判断力、道德的实践意欲・態度、道德的習慣
- ・道德教育の要としての「道德の時間」⇒補充・深化・統合→主体的な道德的实践力

道德教育の充実により

【子どもや学級が変わる】

- ・自分自身について深く見つめるようになる
- ・自分の良いところをさらに伸ばそうとするようになる
- ・自分らしい生き方について深く考えるようになる
- ・美しいもの、生命あるものを大切にようになる
- ・豊かな人間関係を自分から築こうとするようになる
- ・進んで道德的实践を行うようになる等

【先生方が変わる】

- ・子どもの成長を見守るゆとりが出てくる
- ・子どもの心を受け止める道德の授業の展開が出来るようになる
- ・子どもを多面的に理解できるようになる等

【学校が変わる】

- ・子どもにとってより温かく、心地よい居場所となる
- ・子どもの心の問題について、教職員間に共通の関心が生まれてくる等

② 学級・学年・学校集団づくりの推進（・リーダーの育成・縦割り班活動の充実・児童会を中心とする自治活動の推進等）

③ 児童理解と生徒指導の充実

→ いじめの根絶と学校不適応への対応（・支援会議と個別支援の充実・教育相談や毎週、

毎学期のアンケートの確実な実施・日頃からの観察と子どもとの人間関係作り、組織的な対応、他機関との連携等

- ④ 人材育成→復興教育・キャリア教育（・鶏舞など人や地域との関わりを通して郷土愛や復興、発展を支える人材育成等）

（２）確かな学力を育む【学力アップ】

- ① 楽しい授業の創造→授業改善（・授業での「導入」の工夫と「ふり返り」時間の確保、習熟の場面における子ども主体の授業づくり、交換授業等を目指す）
- ② 諸調査の結果分析と補充（IT 及び個別指導・UD（ユニバーサルデザイン）の視点・ICT 活用等）
- ③ 基礎基本の定着（読み、書き、計算の徹底「ことばの時間」・家庭学習と授業の連動、タブレットの持ち帰りによる家庭学習での活用等）
- ④ 体験学習の充実（・総合的な学習の時間の工夫・社会科見学のさらなる充実・地域を生かした体験学習等）
- ⑤ 読書活動の充実（・学校、家庭での読書習慣の確立・図書館教育・読み聞かせの充実等）

（３）健康な心と体の育成【健康力アップ】

- ① 基本的な生活習慣の確立（・あいさつ・早寝、早起き、朝ご飯・歩きの登下校の奨励等）
- ② 健康・安全教育（・交通安全や生活安全指導の徹底・歯磨き指導等）
- ③ 運動好きな児童の育成（・チャレンジランニング・チャレンジロープ・体育授業の工夫・集団遊び（縦割り班活動含む）の奨励等）
- ④ 食育指導の充実（・給食指導の充実・食に関する学習の実施等）

（４）信頼される学校づくり【地域力アップ】

- ① 保護者・地域との連携強化（・積極的な情報発信（学校ブログや学級・学年だより等）・PTA や地域の活動への積極的な参加（環境整備作業、廃品回収、地域のイベント等への積極的な参加）・市民センターとの連携等）
- ② 学校評価の活用（・「まなびフェスト」を活用した学校評価の取組（目標達成型の学校経営の推進等）
- ③ 「一関市学校運営支援協議会」の推進（地域コーディネーターによる学校支援ボランティアの積極的な働きかけと連携・活用）

令和7年度 学校評価の結果

一関市立萩荘中学校

1 学校経営反省

学校教育目標「知識を求め よく考え 他者と協調し 力強く歩む生徒」の実現に向けて、4つの重点目標を設定して教育活動に取り組んできた。4月の職員会議で校長から「こんな学校にしたい」という理想の学校づくりについて教職員の理解を求め、以降の職員会議の度に重点を確認しながら取り組んできた。

(1) 重点1 どの生徒にとっても居場所のある学級づくり

一人一人が大切にされる居心地の良い場の創造を目指し、生徒の心に寄り添った温かい対応を心がけてきた。

- ・県学調質問紙「学級には、間違っても認め合える雰囲気があるか」

積極肯定 56% (前年度比 16 ㊦ 県比+11 ㊦)

(2) 重点2 わかる授業の推進

道徳を要とした安心して学ぶことができる環境を基盤としながら、授業改善、実践を積み重ねてきた。

- ・県学調質問紙「授業や学級活動の話し合いなどで、自分と違う意見について考えるのは楽しい」

積極肯定 40% (前年度比+5 ㊦ 県比+9 ㊦)

- ・県学調質問紙「先生は授業やテストで分からなかったところや、理解していないところについてわかるまで教えてくれるか」

- ・県学調質問紙「テストで間違えた問題について、できるようになるまでやり直しているか」

積極肯定 18% (前年度比+3 ㊦ 県比-5 ㊦)

(3) 重点3 豊かな人間性を育む生徒の育成

道徳の授業に力を入れてきた。一人の生徒を大切にしようという気持ちで生徒と関わり、生徒の良さを見逃さない職員集団を意識してきた。この姿勢を継続していく。

- ・県学調質問紙「先生やまわりの人は、あなたのよいところを認めてくれている」

積極肯定 54% (前年度比+11 ㊦ 県比+13 ㊦)

(4) 重点4 信頼される学校づくり

生徒・保護者の困り感に寄り添い、誠実な対応を心掛けるようにしてきた。生徒指導や教育相談内容等を教職員で共有しながら、組織的に対応してきた。

- ・県学調質問紙「学校に行くのは楽しい」

積極肯定 56% (前年度比+19 ㊦ 県比+5 ㊦)

2 「まなびフェスト」アンケート結果(保護者)

昨年度は3項目が目標指数(肯定的回答 85%以上)を超えていたが、今年度はどの項目も届かなかった。保護者からいただいた意見を受け、校長の所感及び次年度への改善点等を職員会議で確認し合い、学校経営に役立てている。

3 地域との連携

(1) 学校生活での教え合い、助け合う経験を通して、大人になっても地域や社会のために力を発揮できるひとづくりを心がけてきた。

(2) 学校運営支援協議会や青少年健全育成推進協議会等との連携・協働により、地域に根差した教育活動を推進してきた。

令和8年度 学校経営基本計画

1 学校教育目標 「知識を求め、よく考え、他者と協調し、力強く歩む生徒」

2 校訓 【誠実】【探究】【健強】

3 学校教育目標具現のための具体目標

(1) 目指す生徒像

ア 明るく 心豊かな生徒(礼儀 あいさつ 思いやり) 【誠実】

イ 意欲に燃え 学習にひたむきな生徒(好奇心と向学心) 【探究】

ウ 気力に満ち 体力のある生徒(気力 体力 持続力) 【健強】

(2) 目指す教師像

ア よく見 よく聴く教師(包容力 観察力)

イ よく学び よく活かす教師(意欲 情熱 学習力 創造力 授業力 課題解決力)

ウ よく交わり よく動く教師(協同 協働 協調 実践)

4 スローガン 魅力ある学校づくり「この学校でよかった」

〈設定理由〉

「私たちが幸福で健康にするのは、良い人間関係に尽きる」と言われている。道徳を要とする教育活動、安心して学ぶことができる環境を基盤として、「集団づくり」や「授業づくり」の中で全ての生徒に活躍の場と互いに認め合う機会を与え、自己有用感を高めさせたい。誰にとっても「この学校でよかった」と感じることができる学校づくりを理想として、学校教育目標の実現に近づく教育活動を推進していく。

5 本年度の重点

(1) どの生徒にとっても居場所のある学級づくり

(2) わかる授業の推進

(3) 豊かな人間性を育む生徒の育成

(4) 信頼される学校づくり

6 学びフェスト(目標指数:肯定的な回答 85%以上)

(1) 明るくあいさつができる萩中生

【誠実】 明るく心豊かな生徒

(2) 思いやりに満ちた萩中生

【誠実】 明るく心豊かな生徒

(3) 進んで学ぶ萩中生

【探究】 意欲に燃え学習にひたむきな生徒

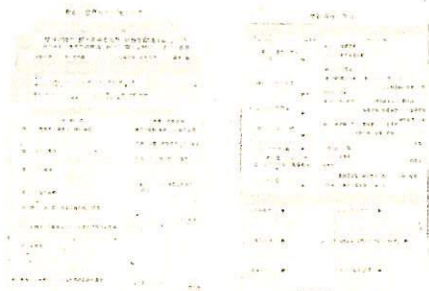
(4) 体力向上に励む萩中生

【健強】 気力に満ち体力のある生徒

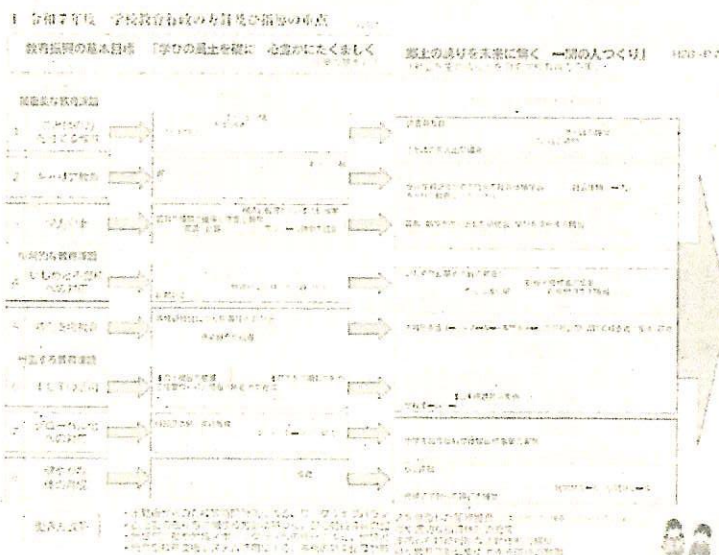
(5) 規則正しい生活ができる萩中生

【健強】 気力に満ち体力のある生徒

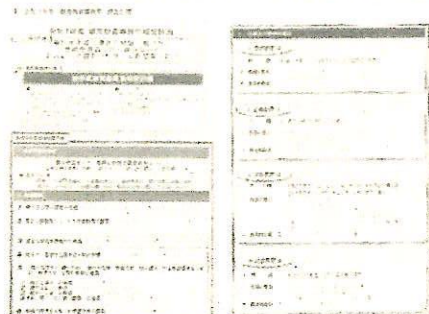
学校教育指導指針【岩手県教育委員会】



教育行政の方針及び指導の重点【一関市教育委員会】



教育行政の方針と計画【県南教育事務所】



【学校教育目標】

知識を求め、よく考え、他者と協調し、力強く歩む生徒

【目指す生徒像・教師像】

【生徒像】

明るく 心豊かな生徒
 礼儀、あいさつ、思いやり
意欲に燃え 学習にひたむきな生徒
 好奇心と向学心
気力に満ち 体力のある生徒
 気力、体力、持続力

【校訓】

【誠実】

【探究】

【健強】

【教師像】

よく見 よく聴く教師
 包容力、観察力
よく学び よく活かす教師
 意欲、情熱、学習力、創造力、授業力、課題解決力
よく交わり よく動く教師
 協同、協働、協調、実践

【スローガン】

魅力ある学校づくり「この学校でよかった」

【本年度の重点】

道徳を要とする教育活動、安心して学ぶことができる環境を基盤とした

- 1 どの生徒にとっても居場所のある学級づくり
- 2 わかる授業の推進
- 3 豊かな人間性を育む生徒の育成
- 4 信頼される学校づくり

【教育活動取組】

- 1 確かな学力の育成
 - (1) 校内研究 <研究主題>
 主体性を育む学習指導の在り方 ～対話的な学びを通して、自分の考えを深める生徒の育成をめざして～
 - (2) 授業改善 確かな学力育成プランに基づいた検証改善サイクルの構築と確立
 - (3) ICT教育 ICTの効果的な活用の推進
 - (4) 家庭学習 家庭学習方法の指導、学習習慣形成を図る実践
 - (5) 読書指導 朝読書の充実、教科と関連した読書活動の推進
- 2 豊かな心・健やかな体の育成
 - (1) 人権教育及び道徳教育の充実
 - (2) 家庭や地域と連携した体験活動や文化芸術教育の充実
 - (3) 健康保持・増進に向けた対策の充実、適切な部活動体制の推進
- 3 生徒指導の充実
 - (1) 自己肯定感の向上と友達同士で支え合える人間関係づくり
 - (2) 実践上の視点「自己存在感の感受、共感的な人間関係の育成、自己決定の場の提供、安心・安全な風土の醸成」
 - (3) 生徒会活動と連携を図った基本的生活習慣の確立
- 4 特別支援教育の充実
 - (1) インクルーシブ教育や授業ユニバーサルデザインの取組
 - (2) 引継ぎシートによる継続した支援、個別の指導計画に基づく組織的、段階的な対応
- 5 キャリア教育の充実
 - (1) 体験活動や講演会、「いわての復興教育」等の推進により見聞や思考の幅を広げる教育活動の充実
 - (2) 郷土及び地域を大切にする人材育成を根拠に置いた進路指導の充実
- 6 郷土学習の充実
 - (1) 鶏舞、郷土学習による郷土理解の推進
 - (2) 郷土愛、郷土への誇り、地域貢献意欲の醸成
- 7 地域・家庭との連携
 - (1) 学校運営支援協議会や青少年健全育成推進協議会等との連携・協働による地域に根差した学校経営の推進
 - (2) 地域部活動の推進と連携
- 8 外部機関との連携

教育委員会、児童相談所、子ども家庭課、生活安全課等の外部機関及び市民センターを核とする地域人材との連携

【まなびフェスト】

目標指数：肯定的な回答85%以上

明るく 心豊かな生徒【誠実】

- ① 明るくあいさつができる萩中生
- ② 思いやりに満ちた萩中生

意欲に燃え 学習にひたむきな生徒【探究】

- ③ 進んで学ぶ萩中生

気力に満ち 体力のある生徒【健強】

- ④ 体力向上に励む萩中生
- ⑤ 規則正しい生活ができる萩中生

令和8年度 学校経営の重点

道徳を要とする教育活動、安心して学ぶことができる環境を基盤とした

- 1 どの生徒にとっても**居場所のある学級づくり**
- 2 わかる授業の推進
- 3 豊かな人間性を育む生徒の育成
- 4 **信頼される学校づくり**

魅力ある学校づくり「この学校でよかった」

生徒が、この学校の生徒でよかったと感じる学校
教職員が、この学校の職員でよかったと感じる学校
保護者が、この学校に子供を預けてよかったと感じる学校
地域の人たちが、この学校が地域にあってよかったと感じる学校

1 生徒が毎日通いたくなる「魅力ある学校」にするために

- ① 「わかる・できる・認められる」場の実現 わかる授業の推進
→ 授業や行事、毎日の活動での生徒の活躍の場の工夫
- ② 生徒のよさを引き出し、伸ばす指導の工夫 豊かな人間性を育む
→ 生徒理解の充実と個に応じた指導の工夫
- ③ 感動があり、生徒の成長を促す行事の展開 豊かな人間性を育む
→ ねらいと重点を明確にした行事の企画・推進

2 良好な人間関係のもと、安心して楽しく生活できる学校にするために

- ① いじめを絶対に許さない気運の醸成 豊かな人間性を育む
→ 学校側の毅然とした方針の周知と生徒会による主体的活動の工夫
- ② 生徒一人一人が大切にされる居心地のよい場の創造 居場所のある学級づくり
→ 学級経営の充実・所属する集団（部活動等）における望ましい人間関係の構築
- ③ 生徒の心に寄り添った温かい対応の推進 豊かな人間性を育む
→ 温かい挨拶や丁寧な言葉遣いによる声がけ、教育相談の充実

3 生徒に確かな力を身に付けさせ、保護者や地域から信頼される学校にするために

- ① 授業改善の工夫（夢中になって学び続ける生徒、学習から逃げない生徒）
→ 教材研究と授業実践 教師の学び続ける姿勢 わかる授業の推進
- ② 保護者、地域との目指すベクトルの共有
→ 情報発信・情報共有の充実と強化 信頼される学校
- ③ コンプライアンスの確立
→ 教育公務員としての使命感・責任感を忘れない 信頼される学校

- | | |
|--------------------------|----------------|
| ・生徒のよさを話題にする職員室 | ・悩みや弱音を相談できる職場 |
| ・生徒から「先生たち楽しそう」の声が聞ける職員室 | ・学び続ける教職員 |

大切にしている言葉

「今日一日 一人の友に 感動を覚えよう」
「君がいて はじめて一つの 輪になれる」
「人が行う教育である限り 人の心がものをいう」